

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

北海道開発局



函館市

令和5年9月13日
函館開発建設部
函館市

マチナカにクルーズ船がやってきた！

～「函館港若松地区クルーズ船岸壁 供用記念式典」を開催～

函館港若松地区において整備を進めてきた函館港若松地区クルーズ船岸壁が本年3月に完成し、9月27日のダイヤモンド・プリンセス（11万トン級、乗客乗員約3,800人）の入港に合わせ、供用記念式典を函館市と函館開発建設部により開催します。式典には、クルーズ客のおもてなし実績のある遺愛女子高等学校が参加し、ブラスバンドの演奏等を予定しています。

なお、本年度の函館港へのクルーズ船寄港は48隻を予定しており、新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年の47隻の実績を上回るものとなっています。

<式典の概要>

1. 日時 令和5年9月27日（水） 14:00～（1時間程度）
2. 場所 函館港若松地区 ターミナル関係者駐車場（函館市若松町12番19号）
3. 主催 函館市、函館開発建設部
4. その他 取材を希望される場合は【別紙】取材申込書にてお申し込みください。また、天候等により式典を中止する場合がございますのでご了承ください。

<事業の目的>

函館港に入港する大型のクルーズ船は、これまで観光中心地から6.5km離れた港町ふ頭を利用していましたが、完成した若松地区のクルーズ船岸壁はJR函館駅からわずか300mに位置し、主要観光地への徒歩移動が可能であることから、観光消費とクルーズ船寄港数の更なる増加を期待するものです。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

築港課 課長 工藤 博文（電話 0138-42-7635 内線 361）

函館港湾事務所 第1工務課長 青井 晃樹（電話 0138-41-4156 内線 31）

函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>

函館市 港湾空港部

港湾課 課長

廣田 洋司（電話 0138-21-3489）



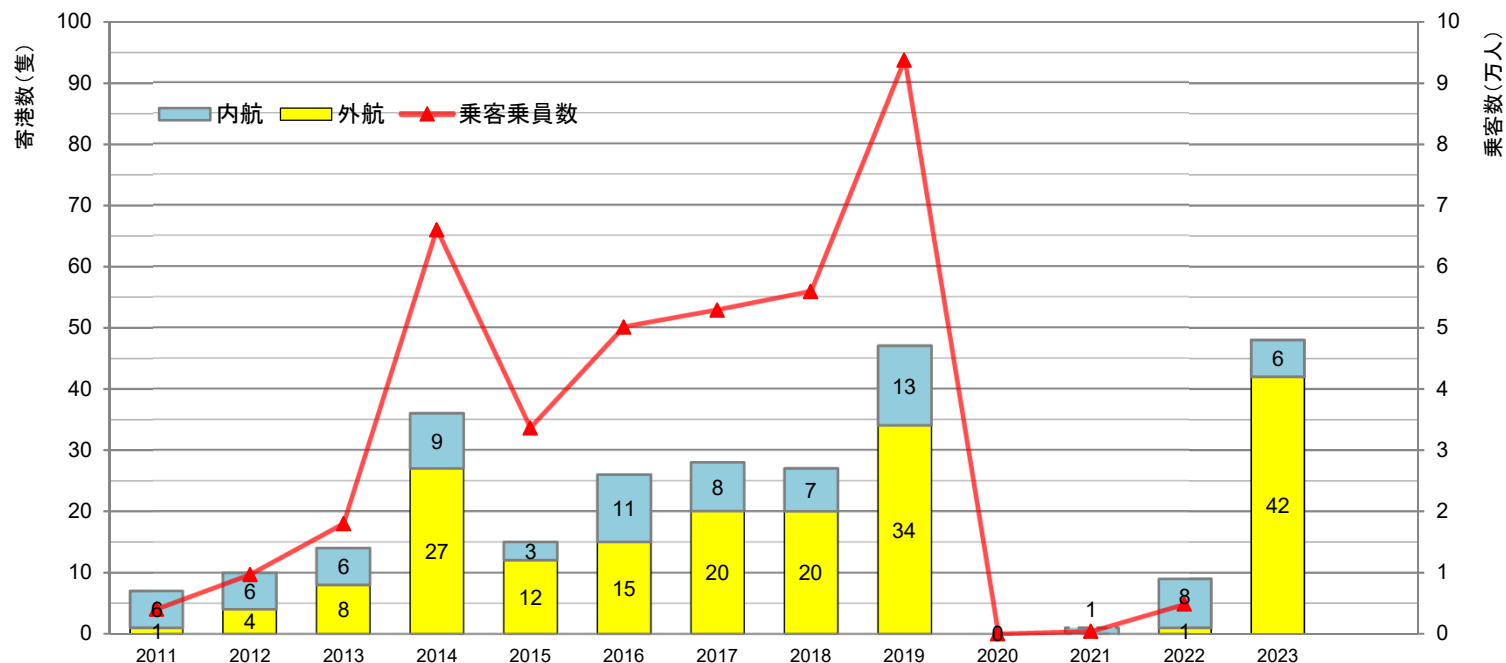
函館港若松地区クルーズ船岸壁 事業概要

- 函館港に入港する大型のクルーズ船は、これまで、観光の中心地から6.5km離れた港町ふ頭を利用しており、主にバスでの移動となることから、市内観光の時間や場所に制約があった。
- 令和3年3月に完成した若松地区クルーズ船岸壁は、青函連絡船記念館に隣接し、JR函館駅からわずか300mの距離に位置しており、観光消費とクルーズ船寄港数の更なる増加を図る。



函館港若松地区クルーズ船岸壁 事業概要

■ 令和5年(2023)の函館港へのクルーズ船の寄港は48隻を予定しており、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年の47隻の実績を上回るものとなっています。



□若松地区クルーズ船岸壁の利用者からの声

◇乗客の声

- ・港町ふ頭だと思い下船したところ、朝市やJR函館駅の近さに驚きました (リピーター)。
- ・JR函館駅や市電までが近いので、観光地巡りを沢山できました。

◇乗員の声

- ・「街にも近くGood Location」。
- ・短い休憩時間でも徒歩で買い物も食事も行けるので便利。
- ・「Wi-Fi」等の電波環境が良い。

八幡坂（R5. 5. 2撮影）ダイヤモンド・プリンセス



【別紙】

国土交通省北海道開発局

函館開発建設部 函館港湾事務所 第1工務課長 青井 宛

申込先（FAX） 0138-43-3404

函館港クルーズ船岸壁 供用記念式典 取材申込書

取材を希望される場合は、本申込書により、FAXにてお申込みください。

なお、供用記念式典開催場所はSOLASエリア（立入制限区域）となるため、取材される全ての方の氏名を「取材者名」へ記入してください。

申込締切は、令和5年9月25日（月）です。

申込日：令和5年 月 日

会社名及び部署	
取材者名	
連絡先（TEL）	
メールアドレス	

